

	事業名	目的・概要	評価項目（含、事業カルテ指標）	目標値	実績 (9月末時点)	前年度実績	前年比	補足説明・影響因子等	次年度目標
介護予防・日常生活支援総合事業	TFPP	ブレブレイル（虚弱）段階の高齢者を早期に発見し、介護予防活動につなげることで、健康増進、介護予防を推進する。気づきから行動変容までを目的として、2段階の質問項目と4項目の測定により、身体の虚弱、低栄養、認知症、口腔機能、社会参加等のリスクを判定できる。楽しく日常生活に取り入れられる体験プロジェクトも実施。大学、介護予防リーダー等の市民が取り組める事業。	①全実施回数	30回	10回	4回		・前年度は試行実施 ・小規模：市民への周知が十分ではない ・大規模：11月、1月に実施予定 ・引き続きデータ集積し、検討チームでファーストチェックの項目について検討	30
			小規模	15回程度	4回	1回			16
			中規模	10回	5回	1回			10
			大規模	3回	1回	2回			4
			②年間のべ参加者数		330人	182人			
	③検証しながら、ファーストチェックの項目確定								
	うんどう教室	運動を習慣化することにより、市民の介護予防を図ることを目的として実施。乞田・貝取ふれあい広場公園、豊ヶ丘南公園に設置された運動遊具を活用した運動教室をそれぞれ月1回開催。 (健康推進課で実施していた「豊ヶ丘南公園のうんどう教室」を平成28年度から高齢支援課の「乞田・貝取ふれあい広場公園のうんどう教室」と統合。	①実施回数	24回	10回	23回		・台風等の悪天候により2回中止（豊ヶ丘南公園）	24回
			②参加者実数	なし	52人	78人			--
			③のべ参加者数	なし	274人	502人			--
	地域介護予防教室	介護予防リーダーが中核となって地域住民と開催する地域介護予防教室で介護予防元気アップ体操を実施。市は、運営費の補助とリハビリテーション専門職を派遣し支援を行う。	①教室数	14か所	13か所	12か所			16か所
			②実施回数	各教室 月4回	299回 (平均3.8回)	555回			各教室 月4回
			③参加者実数	なし	876人	963人			なし
			③のべ参加者数	なし	9697人	17,793人			なし
	介護予防ボランティアポイント	高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取組を推進することを目的として実施。指定された市内の施設でのボランティア活動でポイントが貯まり、そのポイントに応じた交付金を受けれる取り組み。	①登録機関		48機関	47機関		・登録機関は50機関になったが、2機関は辞退となった（事業所の閉鎖・撤退）	
			②新規登録者数		54人	109人			
			③登録者数	400人	380人	343人			450人
	うんどう教室地域指導員養成	うんどう教室の運営、指導にあたるうんどう教室地域指導員の養成を行う。	①新規養成者数	--	--	--		・平成30年度は地域指導員の新規養成をしていない	
			②累計養成者数	28人	28人	28人			新規8人
	介護予防リーダー養成	地域での介護予防活動を支援する介護予防リーダーを養成し、地域における介護予防事業を推進することを目的として実施。 介護予防と老年学、介護予防に必要な運動学などの全13回の講座を開催。	①新規養成者数	20人	22人	20人			20人
			②累計養成者数	109人	111人	89人			
	地域リハビリテーション活動支援事業	住民運営の通いの場（サロン）で、リハビリテーション専門職により介護予防に関する知識の習得・筋力維持のための体操等を実施し、参加者の状態に応じた指導・助言を行う。	①派遣回数（サロンおよび自主グループ）	50回	2回	12回		・昨年度までの社会福祉協議会ふれあいきいきサロンへの派遣に加え、自主グループへの派遣が拡大したため、目標値が高い ・自主グループへの周知が不十分な点、サロンで興味があったところは近トレを開始している点が影響 ・地域のリハ職は10月からの介入となったため、現在0回。年度前半の近トレに関しては地域づくり推進員が代行して実施	50回
			②のべ参加者数（サロンおよび自主グループ）	なし	24人	153人			--
			③派遣回数（近トレ）	60回	0回	--			92回
	近所de元気アップトレーニング（近トレ）	体操をツールに住民運営の通いの場として、人と人とのつながりを通じて、地域の支え合い活動に発展していくような地域づくりを推進する。 地域への広報や立ち上げ・継続支援は第2層生活支援コーディネーターや地域包括支援センターとともに実施する。 ※生活支援体制整備事業として実施し地域での拡充を目指す	①箇所数	20箇所	19箇所	--		・参加者実数は、平均参加者人数であり、詳細な実数は未把握 ・19団体中5団体は未把握	40箇所
②実施回数			--	225回	--		--		
③参加者実数			--	305人	--		--		
④のべ参加者数（近トレ）			--	2799人	--		--		
介護予防・生活支援サービス	元気塾	膝関節痛・腰痛・筋力低下等から外出の機会が低下してきた方や口腔機能・認知機能等の低下・閉じこもり傾向がある方を早期に介護予防教室につなげ、短期集中的に実施するプログラムにより機能向上を図るとともに、リハビリ専門職による生活機能の評価等を行い、地域で自立して健康的に生活できる期間を延ばすことを目的とする。 ※元気塾は1年を3期で分けているため、4月～7月分を集計	①利用者実数	150人	45人	147人		・9月末時点の実績は、1期（4～7月）実施分	170人
			②利用者のべ人数	--	1119人	3477人			--
			③個別の目標達成割合	8割	84.4%	79.6%			8割
			④地域活動など維持・向上のための活動への提案	7割	82.2%	75.5%			7割
			⑤5m最大歩行速度レベルの維持・向上	7割	80.0%	96.7%			8割
			⑥主観的健康観の維持・改善割合	7割	75.5%	85.3%			8割
			⑦基本チェックリスト25項目計改善	7割	88.9%				8割
			⑧						
住民主体による訪問型サービス	一般市民が担い手となり、日常生活に必要な家事等について利用者の状態等を踏まえながら生活援助等の支援を利用者と共に行うことにより、その利用者が可能な限り居宅において生活機能を維持または向上することを目指す。	①利用件数	2928件	974件	874件		・平成30年度上半期新規利用者実数は20人 ・住民主体の活動についての周知や理解が十分でなく依頼につながりにくい ・地域によっては担い手がいらない地域もあり利用につながらないこともある	4104件	
		②利用者実数		56人	53人			延べ	
		③利用者のべ人数	延べ672人	延べ272人	延べ262人			1026人	
介護予防ケアマネジメント	介護予防・生活支援サービス事業の実施状況を把握する。	介護予防ケアマネジメント実施件数	--	3301件	7567件				